
加藤 訓子 Kuniko Kato, Percussion

日本を代表する世界のトッププレイヤーとして内外で活躍する加藤訓子、音楽誌の権威グラモフォンは、「巨匠への通過儀礼もクニコには、勝利の儀式に過ぎない。」と讚し、英サンデータイムズ紙は、「力強く、繊細、根源的でエレガント、見事である。」と評する。

桐朋学園大学研究科修了とともに渡欧、ロッテルダム音楽院を首席で卒業。武満徹、スティーヴ・ライヒやフランコ・ドナトーニをはじめ、著名な作曲家や演奏家と数多く共演。古典から現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、絶妙な音楽的洞察力と表現力の高さ、卓越した身体能力が創り上げる演奏スタイルが高く評価されている。

英国スコットランドの高音質で知られる世界的レーベル、LINN レコーズから CD を出す唯一の日本人アーティスト。2011 年スティーヴ・ライヒの代表作「カウンターポイント」を世界で初めて打楽器へ編曲したソロアルバム「kuniko plays reich」は同年のベストアルバムに選出された。同アルバムのライブ版公演でサントリー芸術財団より第 12 回佐治敬三賞受賞。2013 年に発表した第 2 作目のアルバム「CANTUS」ではエストニアの巨匠アルヴォ・ペルトの代表作 4 曲をフィーチャー、英国オフィシャルクラシックチャートでトップ 10 入りを果たし世界の有力紙からも高い評価を受け、ミュージック・ペンクラブ・ジャパンより第 26 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞オーディオ部門の最優秀録音作品に選ばれる。2015 年には 20 世紀の偉大な作曲家ヤニス・クセナキスの大作「プレイアデス」とソロ打楽器作品「ルボン」をフィーチャーしたアルバム「IX」を発表、レコード・アカデミー賞現代曲部門および特別部門（録音）にダブルノミネートされた。

2017 年 6 月には最新アルバム「BACH」を世界同時発売。マリンバソロによるバッハ作品を集めた 2 枚組アルバムで、2017 年から 2018 年にかけてアルバムリリース記念の世界ツアーを実施。アルバムは、リンレコーズの 2017 年間ベストアルバムと第 10 回 CD ショップ大賞クラシック賞を獲得した。

パール楽器・アダムス社（蘭）グローバルエンドーサー。

愛知県豊橋市出身、米国在住。

オフィシャルサイト <http://www.kuniko-kato.net/>

(平成 30 年 8 月現在・転載禁止)